

令和8年3月議会定例会

令和8年3月24日

令和8年度予算特別委員会審査報告

去る2月27日の本会議において予算特別委員会に付託されました議案第19号令和8年度中川村一般会計予算について、3月13日は委員9名、16日17日の2日間は委員10名出席の下、役場本会議場におきまして関係課長・係長に説明を求め慎重に審査を行いました。

審査の結果は、委員全員の賛成により認定すべきものと決しました。

審査の過程で出された質疑、討論について報告いたします。

総務課：総務係

質問 庁舎管理費について、光熱水費の今年の金額は598万8000円で昨年の予算では575万1000円、今年の予算では23万7000円、わずかですが増額になっている。先ほどの財政係からの説明によると飯田まちづくり電力を採用したことによって、電気料金は4.3%減になったというがこれが反映されてないのか伺いたい。

回答 予算編成の段階では現状通りということなので入れてさしています。

質問 予算書この金額を出したのはいつ頃なんです。

回答 12月の話でございます。

質問 自治振興費の地区集会施設および周辺整備事業補助金ですが、例えば太陽光や蓄電池があれば使いたいです、8年度に向けて何かもし考えがあればお聞かせ下さい。

回答 現状補助金に関しましては令和8年度事業ですと令和7年度の総代さんに打診して要望を聞いておまして、今のお話太陽光とかのシステムに関する提案というものは現在ございません。

質問 一般管理費のメンタルヘルスの中の臨床心理士について、これはどなたか具体的にどのような方を考えているのか教えてください。

回答 村の保健センターと相談して、駒ヶ根市の臨床心理士に今年度の途中から契約を結んでおります。来年度も同じ方だと考えております。

質問 庁舎管理費のクラウド電話固定の新規について、ランニングコストがかかるのか、かからないのか教えてください。

回答 クラウド電話の新規とは、これまで一緒に繋がっておりました社会福祉協議会の電話が更新

ができておりませんでしたので、そちらの更新に充てていきたいということです。ランニングコストにつきましては当時庁舎の管理費の中で計算して、機体本体の消耗等も勘案をしながら、クラウド電話の方が10年計画で見たときにはコスト的に良いとことでクラウド電話にしています。

質問、職員給与費の会計年度任用職員について、ここまでの経過を見ると、令和6年度以降人数は増えているのに金額自体はちょっと下がってきている。その経過について教えていただけますか。

回答 これは傾向的にフルタイムの会計年度任用職員は減少傾向で、代替等を含めたパートタイムの会計年度任用職員が増えているということで分析をしております。

質問 それは雇用条件でフルタイムを出してるけど来ないから代替でやってるってということなのか。そもそもそういう代替で入ってくれる方っていうふうな募集をかけているのかちょっとそこを教えてくださいませんか。

回答 細部は会計年度の採用が各担当課になりますので、その分析はちょっとここでは答えできません。

質問 自治振興費の令和8年度の基本方針について聞かせていただきたい。現在総代会を通じて今後の自治会のあり方検討を進めていて、自治会のあり方も時代に合わせて柔軟に対応していくと方針確認していますが、来年度の予算に反映されていないので、今後どのようなプロセスで来年度考えているのか現状を教えてください。

回答 自治会のあり方検討につきましては、6月にまずは自分の地区も含めて他の地区の問題点等について共有する意見交換を行います。また今の段階ですと、専門委員会というものを作って検討するのではなくて、まずは自分たちが現状を勉強して変えるところから変えていければいいかなというようなご意見が多かったと、2月末の総代会では集約をしました。当面6月の総代会議を開催して研修をしてまいります。

●総務課・財政係

質問 当初予算の概要の10ページ性質別の自主財源比率を見ると、令和7年度の32.5%から26.9%に下がるようになっていきます。この主な理由は諸収入が1685万4000円減っているのが主因だと思うが、内容を教えてください。

回答 諸収入が性質別歳入の前年度対比で主な減の要因となっておりますけれども、具体的にはJR東海の協力金等が一番金額的には要因かなと思われまます。

質問 宿泊税交付金事業のところでは新規で令和8年度から県の方から来るとのことなんですがこれを今すぐに使うというわけじゃなくて基金を新設して、いずれ使うというような理解でよろしいでしょうか？

回答 はい。こちらの宿泊税交付金を活用した事業につきましては、何かしらの事業計画策定後に

基金の方から取り崩し、各事業への充当を行っていく予定となっております。

質問 使用計画を策定するのはどこの部署になりますか。

回答 商工観光係になります。

質問 財産管理費のエネルギーサービスプロバイダーの業務の廃止について、乗り換えたことによるメリットについて建設関係の方で示していただけるか皆さんの方で示していけるか。

回答 電気料金の契約関係ですので、全庁的なところについては私ども財政係の方でお示しをさせていただきますがどのような形でお示しをさせていただければよろしいですか。

質問 データを示していただくとありがたいと思うんですけど。

回答 金額がわかればいいんですか。

質問 金額とメリットデメリットみたいな対比がわかればいいと思うんですけど。

回答 時期的なところで言いますと、飯田まちづくり電力さんの方からは、昨年 11 月に料金提案がございまして、同じ時期に、ESP 業務を用いたネットからの次年度の提案の方も同時に行いましたので、比較検討を 11 月 12 月、また 1 月にかけて行ってききました。

金額的なところで申し上げますと、現行の新電力事業者ネットからの新提案価格ですが、こちらについてはエネルギーサービスプロバイダ料金も加味しまして合計年間料金 2638 万 9817 円といった金額でございました。こちらについては高压施設ですね、6 施設分をまとめた合計年間の使用料金とあとエネルギーサービスプロバイダ料金、これを合わせた価格になります。そちらに対して飯田まちづくり電力から提案があった金額については、年間合計ですね 2525 万 3733 円、ということで、そちらの比較を申し上げますと、差額が 113 万 6084 円、率で言いますと 4.3%飯田まちづくり電力さんは安かったといった形です。高压施設についてはその程度下がったメリットがあったということですので、コア指数高压施設については飯田まちづくり電力さんの方でもう 1 月に切り替えしようといったことで理事者と協議を行った結果、そのように方針を固めさせていただいております。

質問 メリットがあったということで、了解ですけど、ペーパーでもらえませんか。

回答 まとめた資料をまた追加で提出させていただきたいと思います。

質問 今の件、今回連携を変えてですね、リスク管理っていうのは検討されたんでしょうか？

回答 はい。新電力事業者の切り替えについては村としてもいろいろ確認をしております。その中で例えば最終供給報酬価格やその電源構成保証、要は再エネが 100%になるかといったことについては、当村ではなく飯田まちづくり電力の責任であるといったところについては確認しております。

質問 新規の企業版ふるさと納税促進支援業務の 2 万 2000 円について、この業者を使うにあたって例えば他の自治体の実績とか、近隣の自治体はどうか。

回答 企業版納税の支援事業というのは各社ございまして、どの自治体も制度延長になったところから、委託業務として使ってくる自治体数はかなり増えてとといった全国的状況です。近隣でも宮田村は今年度から行っているとは聞いております。なぜこちらの事業者にしたかという、無料サービスの部分で村にとってメリットが大きいと判断いたしました。また、その事業者が全国的な

自治体契約数でいうと今一番多い事業者で自治体契約数が 550 ぐらい超えてきていると伺っております。既に募集寄付額についても総額で 20 億を超える累計額の実績がある。昔、行った陣馬形のトイレのように個別の目標設定はしておりません。

質問 もう一つのふるさと応援寄附金の方は、交流センター係の方でやってると思うんですけども、そことの繋がり、財政係でこれを扱う事の意味を教えてください。

回答 センター係はふるさと納税自体について主管課でありますけれども、実際募集しているところと、実際基金積み立てて何に充当するかというところでは、連携をとっておる状況です。具体的にはアンケート結果をもとにどのような事業に充当していくかというところを、私どもで決定させていただいております。企業版については地域再生計画に基づくものになってくるので財政係の方で今後も主管されていくかなとは思いますが、地域再生計画自体の計画自体はむらづくり係が作成をするというような形になります。

はい。

質問 地方債の利息償還なんですが地方債の利子は変動金利、固定金利どちらですか。

回答 あくまでも借入時の金利になります。

質問 毎年の借入額については毎年その年の金利が上がっていくから、総額全体が上がってということですね。

回答 そのとおりです。

質問 企業版ふるさと納税促進事業で各企業への営業と書いてありますが、この企業とは紹介業者が作るってことでよろしいんですか。

回答 こちらの営業先のリストというのは委託業者の方でリストを作って、こちらの方が認をしたものを営業お願いしますというような形になります。ですので村と関係のある事業者はそのリストから除いた方が成功報酬として跳ね返りがないので、そこは落とすような確認はします。

質問 そうするとできるだけ多くもらえるようにするためには、どのようなことを考えてるんですか。

回答 結構見せ方になってくるかなと思われるので、営業先の事業者に対し魅力的な形でパンフレットの作成については、こちらの意向も伝えて調整をしていきたい。

質問 それで、いただいた企業とその後の連携、そういうのは考えておられるんですか。

回答 そちらにつきましても 1 回限りではなくて、継続的に毎年いただけるような形で何らかの連携は取っていききたいかなとは思っております。

●総務課－危機管理係

質問 防災対策費の防犯カメラ設置について、昨年の 3 月議会で村長は今後増設を検討していくという回答だったと思います。今年度増設実績はなかったし来年度予算にもないが、検討してもし必

要となれば補正予算でやるという考え方でよろしいか。

回答 防犯カメラについては各地区の方、学校関係、交通安全の関係でも、お話をさせていただき、どこに設置という要望が今のところないというです。もし手を挙げていただいてこちらで検討を行って設置が妥当と判断した場合には、補正等で計上する可能性があります。

(要望) 防犯という観点で役場の目で見るとここは防犯上必要だということでは、カメラの増設を検討いただきたい。

質問 今の関連で、ゴミのポイ捨ても問題になってきているが、それはやっぱり地区からの要望が出てこないとできないものなのかなちょっと教えてください。

回答 ゴミのポイ捨ての問題もかなり道路上にゴミが散らかっていたりとか、人が目につかないところに捨てられたりとか、そういうことは以前からあるので環境部局とも相談をさせていただき検討させてもらいます。

質問 交通安全対策費の自転車用ヘルメット購入補助金は最初 12 万円で始まり次第に減少しているが、これはヘルメットが普及してきたから、だんだん減額したという理なのか、実際の普及率や周知どうなっているのか、お聞かせください。

回答 自転車用ヘルメット購入補助金については令和 6 年令和 7 年度の実績に基づいて、8 年度の予算を組んでおります。これから周知徹底を図って申請の方が多ければ補助金の枠も検討いたします。

質問 質問は実績として減ってきたのかっていう質問なんですけど、減ってきてるんですか。

回答 6 年度はかなり申請をいただいたんですが 7 年度はちょっと減ってきておりましたので、減額をしたというところです。

(要望) 実際にはやっぱりまだヘルメットをかぶってないお子さんもいらっしゃるんじゃないかと見ているんですが、そこら辺は努力義務なので言えないところもあると思うんですが。引き続き周知の方お願いしたいと思います。

質問 防災対策費の組織作りの実施という方針について、防災士の資格を取った方々の今後の村での組織作り、の方針を聞かせていただきたい。

回答 昨年度も実施をするということで回答したと思いますが、年度明けてしまうんですが、4 月に防災士の方々をあつめて、今後の展開について話し合う予定です。

質問 それは予算のかからない範囲でやるってということですね。

回答はい。予算をかけずに実習をします。

質問 防災対策費の防災会議の開催について、これの参加範囲と内容、どのようなことを考えてるか教えてもらいたい。

回答 防災会議は村の地域防災計画の修正を行う際に、参集範囲といたしましては国県関係機関また自衛隊、医療機関、そういったところに参集いただきまして、中川村の地域防災計画の修正案についてご審議・答申をいただく会議となっております。

質問 時期はいつ頃考えてますか。

回答 今年度は修正を考えておりませんが、避難所等の更新等もありますので、いつ開催といは明言できませんが実施をする予定ではございます。

質問 この交付金というのは連絡会議出席委員の交付金ですよね。

回答 はいその通りです。

質問 地域防災力の向上について、この地域防災力を支援するという観点で上伊那郡各地区の各行政団体企業の連携はこの中に入れてるんでしょうか？

回答 村独自で連携をとるということはないが、伊那市が中心となっていて、上伊那の防災ネットワークっていうのは立ち上がっており、そこには企業さんも入っており、中川村も自治体として参画し、そういったところでの横の繋がりはできると思います。

(要望) 相談相手にもいろんな団体がありますので、参加していただきたいというふうに思います。

質問 地区防災マップ作成支援業務委託について、令和7年度の2地区のその進捗状況と、残りはあと9地区で、令和8年度も2地区を進めていくのかどうか、を確認したい。

回答 今年度は葛北地区と柏原地区で防災マップの作成を行いました。令和8年度は長野県の支援も受けながら、村の単独事業も使いながら、2地区できれば実施をしていきたいというふうに考えております。

質問 その2地区は、この残りの地区の中から手を挙げて選ばれるという理解でしょうか？

回答 総代会等を通じて作成をしていただける地区、ご興味ある地区を手を挙げをお願いして選定をしていきます。もしない場合はこちらの方からお声がけをさせていただきます。

質問 この支援業務は、地区の中で例えば女性ですとかいろんな世代とかに声をかけは、その委託先の方で声かけをしている、ということよろしいんですか。

回答 地区内のいろんな団体にお声がけをして、集まっております。

質問 中川村防災行政無線更新事業実施設計業務の内容を教えてください。

回答 中川村防災行政無線につきましては、平成21年に現在のものが導入をされておまして、

かなり年数が経過しており、機器自体の修繕もかなり難しい状況に今なっております。そこで役場（村）にある親局と、また子局の方の更新を考えております。方式につきましては、今検討段階でございます。来年度の実施設計の中で、方式も検討していくということです。

質問 機器の更新の実施設計でこんな費用がかかるんですか。

回答 現在 16 株という方式で電波を送信しておりますが、その方式は製造を停止しておりますので、新たに機器の更新が必要になっていきます。そうすると周波数や方式を変更する場合に、電波の届く状況とかも調査をしなければなりませんので、そういった調査も含めると高額になってまいります。

質問 調査も入ってるんですか。

回答 入ってます。

質問 それでわかりました。上の段の照査設計業務は、調査の間違いですね。

回答 申し訳ありません。調査でございます。

●地域政策課・むらづくり係

質問 公共交通確保事業の飯島駅の切符販売業医務について、今 JR の方で飯島も近く取り壊すと聞いておましてそれがどうなるかっていうことと、もしそうなった場合に、この販売業務負担金ものもなくなっていくのかどうか伺いました。

回答 飯島駅については今後行っていくと伺っております。また担当レベルの話で、あの駅舎がスマート化されるという話もあり、そのタイミングでこちらの負担金のあり方については検討していきたいということ担当レベルでは今話は進めております。もう少し詳細がわかり次第、また詰めてまいります。

質問 昨年この場でもお聞きしましたが大島の駐輪場やはり返地は難しいですかね。

回答 契約は長く、うちだけではなく町村さんも負担をしております。実際のところ今、駐輪場は現状ではほぼ使用していない状況です。ただ地代の方はこれ松川町が一括して地権者から借り上げをして、それを按分した形で、各町村に負担金としてお願いが来るといような形ですが、実際には結構な地代の相当分は松川町さんが負担しており、反対側に村の巡回バスのバス停を設置しておりますので、いきなりもう使いませんので、という話には多分ならないと考えております。

質問 地域おこし事業の集落支援員 327 万 5000 円についてこの集落支援員を増やすという方向で動いてると思うんですが、来年度どういう方針で動くのか教えてください。

回答 集落支援員の人件費等 327 万 5000 円については、村の方でフルタイムで活動していただく

集落支援の person 費という形になっております。移住定住施策進めていくということは現在地域おこし協力隊の方が新しい相談場所等も環境係が中心で作っている部分もありますのでそちらの方と調整や細かい打ち合わせまではできていない状況です。そのあたりは令和 8 年度に入ってから進めてまいります。

質問 総合計画では活性化委員会を 2 地域から 5 組織に増やすという KPI があって、移住定住政策に関わる地域の方の集落支援というものを増やしていくという方針であると私聞いておるんですが、そういったことも含めて、令和 8 年度取り組んでいくということで、よろしいでしょうか？ 確認なんです。

回答 各地区の方でのそういった組織を作っていくということは総合計画の方でも書いている部分になりますので随時そのことについては各地区の方にもお話はしております。ただ、やはり主体的に動いていただくのは地域の皆様になりますので、村としてもそういった組織の活用を促すというような形で進めてまいりたいと考えております。

質問 バス運行事業の関係で、予備でチョイソコの軽自動車もう今あるんですけどもこれはあくまでも地域政策課のものではなく公用車という形の中での扱いになってここには入っていないということよろしいんですか。

回答 軽自動車はリースとして使わないときには公用車という使い方もできるとしておりますが、村内ではチョイソコが入れない場所が多いので代替車両として使っております。基本的には 2 台運行です。

質問 チョイソコについて、今年度の分析で運賃を上げるかという議論があったと思うんですが 8 年度はどういうふうに考えてますか。

回答 昨年も令和 7 年度の地域公共交通会議の中で運賃の見直しについて 1 年間検討しております。その中ではやはり全てを運賃で賄うということは、やはり厳しいことと、村としましても地域の足の確保、交通弱者を救うというところは進めないといけないと考えていますが、ただ平成 16 年から運賃の変更を行ってきておりませんでしたので、公共交通会議の中では運賃の見直し、少し上げていくというところは、お認めをいただいている状況です。令和 8 年度にちょうど公共交通計画 5 ヶ年がちょうど終わるというタイミングになっておりますので、令和 8 年度計画を策定する中で、新料金についても提案をさせていただきながら、令和 9 年度には新しい計画と新しい運賃体系というところで進めていきたいというところで今、話は進めております。

質問 地方創生推進事業の中川どんちゃん祭り負担金について、今年は特定財源載っていなかったので同じなのかどうか聞きたい。もう一つはやはりその村の財政が結構緊縮という中で、この 750 万をこの今の村の中でかけるってということについて、ちょっとどのように検討したのか、経過を教えてください。

回答 どんちゃん祭りについては財政の見直しの中で、一昨年からクラウドファンディングも行っており、そのところをもう少し頑張る形で協力いただいた金額が多くなってきております。今年については去年のお祭りもだいぶ人も出てきてる中できちんとした有料席的などころを確保しながら、花火にかけのお金を確保していくということで、査定の中で協議した中で今年は750万というところに落ち着いたというのが状況であります。既に今年の関係で特別寄付をしたいという事業者さんも出てきておりますので、去年並みには花火の分について確保できるというふうには今思っております。

質問 あんまり湿ったようなことを言うてはいけないと思うんですが、そういう経過もあって村は、そういったクラファンや企業さんからの応援もあった中で、これだけ同じような感じで賑やかにやっていくよってというような示し方をしていった方がいいのかな、と思っておりますが、いかがでしょうか？

回答 そのように努めたいと思います。

質問 新規事業のスチールファンライドについてもうちよっと詳しく教えてください。これは美しい村連合との関わりの中で、グラベルライドのような形でやるという認識でいいんですか。

回答 こちらは美しい村連合の関わりで現在は大鹿村、高遠町、中川村を周遊するような形でポイントを設けながら、レース空間をとるところで、なるべく危険がなく人数もかけずにというところ、自転車協会の担当と3町村も含めながら、今話は進めている状況です。

質問 このレースがマニアックなレースになってしまうんじゃないかなという危惧があるのと、以前から関係人口の創出というところでグラベルライドラリーには課題があったと思うんですが、その辺も含めて今回のスチールファンライドの決定に至った経緯を教えてください。

回答 自転車協会の担当の者と話では現在スチールに移行するといった環境を考えていただける方も増えてきていると伺っております。やはりただのレースを行ってしまうのではなくやはり地球環境に優しい脱炭素といったところを掲げていきたいというところでそちら美しい村作りにも繋がる部分もあるということで、今回大鹿村長とも一緒に話をしながら、ぜひこれは進めていこうというような話となっております。

関係人口の創出というところが課題について、今回グラベルに比べまして街部を走ったりというところもありますので、地元の方との関わりであったりとか、各町村でブースを設けながら、物販をしたりとか特産品を知っていただく機会というところは設けていきたいなというところは話を進めております。なにぶんグラベルも1回しかまだできていないということもありましたので回数を少し重ねる中で課題等について見ながらといいところも進めてまいりたいというふうに考えております。

質問 今年の時期はいつ頃になりますか。

回答 今のところ9月の27日を予定して話を進めております。

質問 地域作り支援事業補助金について、100万円増加してもらって非常にいいことだと思っております。これは限度額と、補助率をどのように考えていますか。もう1回説明いただいた方がいいような気がします。

回答 こちらの補助率は5分の4という形で継続して事業を展開していただき、自己資金についても少し見ていただき、上限額を従来の10万円から20万円にあげて住民団体の活動を支援してまいりたいと思います。

質問 今の関連で、現行の10万円で10割補助という点について、どのような課題があって今回の改正に至ったのか、ちょっと経緯を教えてください。

回答 地域作り支援事業補助金は特徴ある地域作りのときから制定して10年以上経っており、当初の目的である住民主体にまず活動していただくというテーマは一つ区切りになったのかなというふうに思っております。今後は村が存続していくために、地域コミュニティの課題等をとりあげて住民団体の皆様が自分たちの力で継続しながら、また自立的公益的な部分の活動を行っていただくことに補助をしていきたいという部分もありますので住民団体の継続性を見ながら少し補助率は下げておりますが、その分頑張らせていただいている事業について上限額を上げて大きな事業もしていただければと考えて、見直しの検討をいたしました。

●地域政策課・土地政策係

質問 移住定住推進事業の新規でふるさと回帰センターの事業内容を教えてもらえますか。

回答 ふるさと回帰センターの会場を利用することができることや、また田舎暮らしの本というところに村の案内を無料掲載できます。またセンターの登録者に対してDM発送を行うことができます。また別途有料になりますが、このふるさと回帰センターの方で運営しておりますWebサイトの方にバナー等の掲載ができたり、こちらは利用制限はないんですが経営権数無制限でイベント情報等を掲載できるようになっています。

またこちらのWebサイトでは移住者が移住するまでのストーリー、そういったものを年に1回までになりますけれども、掲載ができるようになります。その他としまして、一番大きいのは中川村の棚に村の資料を置かせていただくことができるようになります。またセンターに常駐している相談員が中川村のことを案内する際に、そういった資料を用いて説明していただくことができますようになります。

質問 具体的な場所と先ほど会場利用できるということなんですが中川村のイベントも開けるといことなんですか。

回答 中川村のイベントも開けるようになります。場所につきましては、東京有楽町、東京交通会館というところです。

質問 お試し住宅の件で。小平・中組・中央とそれぞれ1件ずつありますが、それぞれの住宅を試した期間や回転率について状況を教えてください。

回答 今年度の状況ですと、小平のお試し住宅では新たに入居された方が2名、前年度から継続している方も合わせると、今年度利用していただいたのは小平は3世帯ということになります。中組のお試し住宅は新規入居が6組6世帯いらっしゃいます。こちらもやはり前年度から引き続いて入居されていた方がいらっしゃるのので利用世帯としては7世帯です。中央のお試し住宅は前年度からもうほぼ1年という形で利用されていた方が、いらっしゃいましてその方1世帯のみの利用になります。

質問 村が気に入ったということでも居を構えるっていうような人が出てますか。

回答 出ていらっしゃいまして、中央のお試し住宅の方1世帯ですけれども、そちらの世帯の方は、今の中川村の中であの土地、住むところを探していらっしゃいます。

質問 新たな空き家相談所に関してして、係としての関わり方というか方針というか、聞かせて下さい。

回答 相談所の方は建設環境課担当です。私どもの土地政策係としては、空き家になってしまったものを、これから活用していくということを取り組んでる係ですが、空き家相談来られる方は一体的な内容の相談になってまいりますので、一緒に空き家の活用に関わっていらっしゃる方の相談には一体的に乗っていきたいと考えています。

質問 先ほどのふるさと回帰センターについて、この中は2地域居住という事も考えているのでしょうか？

回答 2地域居住をこのセンターで扱うのかというところはまだ明確にはなっておりませんが、できれば中川村と2地域にしても6対4という村でなるべく多く過ごしていただきたいというふうを考えております。できるだけ中川村に移住を考えていただけるように持っていきたいというふうを考えています。

●地域政策課・DX推進係

質問 電子化推進事業の地域力創造アドバイザーあるいは地域活性化企業人派遣負担金について、この人選について村の要望を聞けるような範囲はあるのでしょうか？

回答 地域力創造アドバイザーは総務省の地域人財ネットというものが公開されておりましてそ

の中から市町村の方で独自に検討して、その中の候補をお願いをすることになります。地域活性化企業人につきましては、実際にそういった業務経歴がある方や、今までの繋がりの中で業務に資する方々を検討するということがあります。また様々な方面から人財を検討する条件というのはございます。

(意見) せっかくいい事業ですのでミスマッチがないように、お願いしたいと思います。

質問 今の二つの件は1名なわけですが、期間はどのぐらい。

回答 まず地域力創造アドバイザー2名です。この制度は特別交付税の措置となり、アドバイザー1人につき最大3年間です。ただし契約行為は1年単位です。地域活性化企業人は派遣期間が6ヶ月から最大3年となります。これは、企業との協定を締結していくことを想定しております。

質問 そうしますと、1年間やってみて、それで良かったら継続していくっていう考え方でよろしいんですか。

回答 おっしゃる通りです。

(意見) 今のことに関連して申し上げますが、総務省の人財の中には全く役に立たない方も実はいらっしゃいます。ですので必ず面接をしていただきたい。また契約期間は長くても1年だと思いません。飯島の例もありますけど、全く知らない人を我々を選ぶことになるので、何が起るかわからない。国が選んだから大丈夫だっていうことにならないので、ぜひその辺は注意をして実践していただきたい。

質問 アドバイザーはいつ頃から開始予定なのかなというのが一点と、あと企業人の方は、マッチングでこれから企業を決めるということによろしいですか。

回答 地域力創造アドバイザーにつきましては、早くても4月からです。地域活性化企業人につきましては既に企業さんと話をしておりまして、5月からの想定ということで予算計上しております。

質問 DX 推進アドバイザーこれも新規ということですが、これは人財はどっから採用してくるんでしょうか？

回答 現在想定しておりますのは長野県内で実際には市町村の職員の方でデジタルを推進している方のOBさんです。

質問 会計任用職員という理解でいいですか。

回答 こちらは委託契約という形で委託料の方に計上しております。

質問 チャットツールについてこれまでの経過と今の実施率、運用しての課題とかについて伺たい。

回答 こちらは庁内の職員のチャットツールという理解でおります。これは職員の増減によって変わってくるので、その分を積算で計上しています。

質問 チャットボットのことかなと思ってたんですがそちらについてお伺います。

回答 回答 I チャットボットは令和 6 年度に導入いたしまして令和 7 年 1 月から稼働しております。こちらにつきましては国のデジタル田園都市国家構想交付金を活用しまして、3 年間の運用経費まで交付税の措置としておりますので、実際には令和 6 年度の決算の方ですね計上しております。令和 8 年度末までは予算の方には載ってこないというところになっております。

質問 電子化推進事業の中のスケジュール管理ツール利用料について、このツールはどのように使おうとしてるのか教えてもらいたい。

回答 こちらは行政の内部システムの中の LGW 回答 N 系、マイナンバー利用時向け、インターネット接続系とセキュリティを厳しく要件を分けて運用しております。実際に今までは LGW 回答 N というネットワークの庁内でしか情報を見ることができないという状況の中で運用してきておりましたけれども、外部でもしくは自宅で業務をするようなことが増えてきておりますので、実際にはスマートフォンでしたり、こういったようなテレワーク用の端末で外部からですねスケジュール、施設の調整でしたりそういったようなことを行うことが今後望ましいというようなところがありまして、特に理事者の業務予定ですとか個人のスケジュール管理というところで、そういったなサービスを使いながら柔軟に対応していきたいと考えております。

質問 情報管理という観点ではそこら辺でどのようにチェックされる予定なんですか。

回答 今回予算計上しておりますスケジュール管理のツールは、今役場の中で LGW 回答 N 系にも載ってるんですけども三つあります。職員が外に出てその場でいろんな理事者の予定を確認する場合に、今までは確認の方策がありませんでしたが、これを入れることによって、外から職員がスマートフォン等で業務予定を確認ができ、また自分のスケジュール管理も、その本人についてはできるということでそういった方向に変えていくということで予算計上しております。

質問 私文書とか入ってるわけじゃないからそういう意味では大丈夫だってことですね。

回答 個人情報については入っておりません。あくまでもスケジュールの関係のみで。

質問 ケーブルテレビ事業について、自主番組制作業務 300 万入ってますが、こちらの内容は、どこでどういうふうに決めているか教えていただけますか。

回答 現在行政の自主番組を毎週組んでいるのはケーブルテレビ会社です。その中でも特別に番組を組みたいという部署がありましたら、ケーブルテレビ事業者さんと調整をしてですね番組制作を行っていくというような流れになっております。

質問 ということは、庁内でそれを調整しているわけではなく直接ケーブルテレビさんとその部署とのやり取りになるってということですか。

回答 実際のところはケーブルテレビ事業者と私達の係の中で情報共有しておりますので、3 者の

中で共有していくことでは間違いがないかなと思います。実際の業務で特別に放送したい内容がありましたら、ケーブルテレビ事業者と私達もお話をしてくださいというふうに伝えていきます。

質問 情報システム機器の更新増設で616万ですが、リモートワーク用端末っていうのは何ですか。更新する必要があるのですか。

回答 これは Chromebook のことです。今セキュリティ対策がサポート期限っていうのがありますので機器の耐久性という意味では使えるものであってもセキュリティ上ですね更新しなければいけないという期限が定めております。そういった意味での更新と、こういった持ち運びの会議に使ったりすることが多くなりますので、庁内のシステム自体も更新の予定をしておりますのでそれに合わせて、定期的に新增設を考えていきたいと考えています。

質問 これ更新は何台ですか。

回答 今回では33台です。

質問 この33台を、これ購入したのはコロナの頃ですよ。

回答 これは令和2年です。2020年です。

質問 その間に、これはどれぐらい使用されたものなんですか。

回答 リモートワークとして実際にはですね、リモートワークというふうな概念の中にはテレワークでのほかに、自宅で使われている方もしくは庁外の施設で使われている方、地区集会所で使われている方、それぞれ全てを称してリモートワークというふうに定義しておりますので、実際にこの広い意味での利用とワークということになりますと、実際のところは日々使っているというところになりますので利用頻度は高いかなというふうに思っております。

質問 電子化推進事業のDX推進アドバイザーと地域力創造アドバイザーと地域活性化起業人の、それぞれの役目を端的に教えていただきたい。

回答 まず、DX推進アドバイザーにつきましては、全庁横断的にこれからDXの推進をしていく上での相談、助言ということをお県内でも知見のある方お願いしたいと考えております。地域力創造アドバイザーにつきましては電子地域通貨の導入調整がメインとなりますが、その他にも地域のコミュニティの維持や、関係人口作りというところで知見を有している方など、地域力維持に関する事業推進の助言をいただきたいと考えております。

あと地域活性化起業人につきましては、主にデジタル活用が進んでいく中で、効率的に管理をし整備をしていくというところに力を借りて定期的な管理業務の効率化していきたいと考えております。

●住民税務課 住民係

質問 マイナンバーカードですが、今現在は村はどのぐらいの保有率ですか。

回答 2月28日現在のマイナンバーカード保有率は、中川村は81.04%となっております。ちなみに全国平均は81.71%、県が80.71%となっております。

●住民税務課 税務係

質問 地番図家屋図のデータ更新の費用金額のところ578万6000円にないますが。

回答 ちょっと予算書を確認します。

質問 説明書の中の407万円が正しいのね。

回答 そうです。説明資料の訂正をお願いします。

質問 昨年の委託料を見ると地番図更新業務データ更新等では土砂災害特別警戒区域面積算出業務が新規で載っていましたが、これが入って578万6000円ということですか。

回答 予算書の578万6000円というのは、委託料の合計金額で、内訳と総額の扱いが混同してしまっておりました。令和8年度はその土砂災害の面積算出業務は計上しております。

質問 5786が正しいわけですね。

回答 そうはい。

質問 予算書も5786になっていますが4070ですか。

回答 予算計上した委託料の総額は578万6000円が正しくて、その中で一番規模の大きな地番図家屋図データ更新が407万円ということで、一つだけ要素を挙げて説明資料に記載したということです。

●住民税務課 土地調査係

質問 情報管理システム保守とシステムリース料ですが、リース料の中に保守は入っていないのでしょうか。

回答 予算計上してあるリースは機器の賃貸借のみで、保守は別の予算枠で委託料として計上してあります。リースについては5年のリース期間で使っていく予定で予算計上している部分の単年度分です。保守につきましては、リース契約をしている会社で保守については単年度契約で計上してあります。

質問 毎年継続事業で国土調査事業が計上されているのですが、これまでの地積測量、地籍測定、複図策定、数値情報化、などが今の段階まで進んできているのか、これからあとどれぐらいあるのか次年度から明らかにしていただいた方がいいかなと思います。実績の上で、次年度はここをやりますとか、これぐらいやりますとしていただいた方が情報としては非常にわかりやすいと思いますが。

回答 全体の計画、それからこれまでの実績は数値で出ておりますので、この資料の中に補足的に説明で入れたいと思います。

●保健福祉課：社会福祉係

質問 高齢者補聴器補購入補助は昨年比で 20 万増やしておりますけど、補助の希望者が多いということでしょうか？

回答 令和 7 年実績で 15 件今のところありますので今年の実績を踏まえて増額をしてあります。

質問 住環境改善補助事業が老人福祉費に入っている理由を伺いたい。

回答 もともと住環境改善補助事業は 65 歳以上の方対象の制度からスタートしておりますので、今回一人親非課税世帯を増やすというところで、本当であれば社会福祉総務費の方へ移すべきものですが、どれだけの実績となるかわからないので、今年度はとりあえず高齢者福祉につけました。実績を見て社会福祉総務費の方に移していきたいと思います。

質問 老人福祉施設管理の温水ボイラーの保守点検は基本的に今までやってなかったことですが、毎年やらなくていいのかどうか知りたい。

回答 実は今年故障しまして、それで業者の方から毎年これは保守点検するべきものということを知りまして、令和 8 年から毎年保守点検をしていただくようにします。

質問 基本的にボイラーは毎年やらないといけないと思いますが。法律上の規定があるんじゃないんですか。

回答 憩いの家のボイラー設置と、ある程度の管理は産業振興課の耕地林務係でやっておりますが、予算は保健福祉課のため、管理の内容を把握しておりませんでした。来年以降きちっとその体制や予算付けなどについて修正いたします。

●保健福祉課：子育て支援係

質問 児童クラブについて 8 年度の傾向として利用者が増える見込みなのかという点と、支援員は足りてるのかなどの現状や課題を伺いたい。

回答 児童クラブは今年夏休みに葛島区民会館を借りておこない利用は多かったですので、今年の実績を見まして、来年度も継続で2ヶ所でやる方針です。指導員の方は教育委員会の協力をいただきまして学校の村費の先生にも少し協力いただいております。今後は南向地区の平日についても、だんだんに考えていきたいとは思っております。

(要望) 南向地区の保護者からも声を聞いているので引き続き対応お願いしたい。

質問 バンビーニの入口ドア、それからカメラ、の予算について内容を伺いたい。

回答 今回の改修は開所以来のオートロックのドアが正常に機能しなくなっていることや、部品の交換がもうできないため全て交換すると大変な金額がかかるということで、運用に問題ない範囲で改修をします。カメラの方は今2階にあります、1階の踊り場のところが見えるようにということでカメラの更新を予定をしています。

質問 病児病後児保育の委託料というのは、病児病後児保育をしたお子さんの人数には関わりなく包括的な委託料というふうに理解していいですか。

回答 一応、お子さん1人当たり2万1000円という委託料をお支払いしてということで利用の実情に沿って委託料をお支払いしてるといような形なんです。

質問 そうすると、保育をしたお子さんが増えた場合や減った場合は、この金額は変動するといふふうに理解していいんですか。

回答 その通りです。

質問 病児病後児保育の負担金というのは、村のこの今度新しい病児病後児保育に預けずに別のところに預けた場合の負担金ということですね。

回答 上伊那の駒ヶ根市と飯島町でも病児病後児保育を行ってますのでそちらを利用した場合にはその分の負担金がかかります

質問 昨年10月にスタートして利用者の数はわかりますか。

回答 3月末で90名ぐらいのお子さんが利用されてます。一応下伊那の市町村も契約をいただいております、中川だけではなくて、他の市町村からも利用も含めて90名程度の利用です。

●保健福祉課：保育所

質問 保育園の整備について、南向保育園が砂防の工事で山保育の場所が使えなくなってしまっている点について、今後の方針を伺いたい。

回答 砂防工事があるので滑り山での活動はなくなってしまうんですけどいいますが、今後はその

少し北側の畑付近が自然遊びの中心になってくると思います。

質問 予算計上されていないんですが、子供たちの暑さ対策大丈夫なんですか？

また、年々暑さが予想されますので、とりあえず一つは片桐保育園エアコンを一つ付けましたが。

回答 外での遊びは限られてきてしまうとは思いますが、今のところは日除けのテントを置く事ぐらいしかないと考えています。また、エアコンをつけましたので、夏でも室内十分に楽しめることを考えています。

質問 施設整備のところでは若干園児が増えても、ある程度どこまでそこを見越して今回やるのか。将来的な構想があるのかどうか伺いたい。

回答 今後は園児数が減少していきますので、そういったときに両園でやった方がいいのか、それとも一つにまとめた方がいいのか来年度以降もその検討は続きます。村の財政も厳しい中ですので、両園どちらも同じように整備はしていきたいんですがそうも言ってもらえない財政状況もあります。施設的に見たときに未満児の部屋が片桐保育園の方が最近改修したばかりで、非常に使い勝手がいいということもあり、8年度は片桐保育園の方を重点的に解消するということ考えております。

質問 捕虫器設置について、今までどういう状態だったのか伺いたい。

回答 今まで捕虫器というものはなくて、それでも給食室にネズミが出るとことはありませ

●保健福祉課：保健医療係

質問 予防事業について、昨年まで記載されていた風疹の追加的対策と子宮頸がんのワクチンは各種予防の中に全て入っているという理解でよろしいか？

回答 風疹の追加的対策は今年度で予防接種が終了しておりますので8年度はありません。子宮頸がんにつきましては各種予防接種の中に含まれています。

質問 電子母子健康手帳使用料について、紙の方もまだいるとは思いますが利用状況を伺いたい。

回答 妊婦さんには従来の母子手帳もお出しをしています。電子ですと中の情報も更新をだんだんしていきますが、そちらと併用しながら使っていただいています。ただ電子手帳は全く見ていない方も中にはいらっしゃるかと聞いております。

質問 使用状況はどれぐらいか伺いたい。

回答 50%を超えるぐらいの方が使用しています。

質問 がん患者へのアピアランスケア助成は予防事業という名称でこれを入れるのが適切なのか。もし適正でないということであれば事業名を新しく作っても構わないと思うのですがいかがで

す。

回答 もう少し内容を精査して適切に対応いたします。

質問 いろいろな助成や補助について、その都度いろいろ該当者に説明をする際に一覧のようなものがあって、あなたはこれに該当しますから申請できますというのがあるとよいと思うのですが、そういった物は何かあるのでしょうか。

回答 子育て関係ですと実際冊子にまとめて毎年内容を更新しております。またこの予防事業の関係についてはそれぞれありますが、一覧のものは今のところご用意がありませんので作るようにしたいと思います。

質問 こういう助成金補助金を使う側の方になって見て一度、一度整理していただくといいと思いますが。

回答 保健の関係ですと、必要であれば保健師からこのような制度があるということは事細かに説明があるので、おそらく今まで一覧表にする必要がなかったという経過もあると思います。住民の皆さんには保健師との健康に関する面談をしてもらうことが一番大事というところもありますので、それも含めて今後作れるものを作っていきたいと思います。

質問 新型コロナ予防接種業務について、これは対象人員と単価をどのぐらいで考えているのか伺いたい。

回答 来年度、単価等が若干変更になる可能性はありますけれども、令和7年度ベースでは接種とワクチン代すべてで1万5300円ぐらいだったと思います。補助はその半分で7800円がことしの補助額です。接種率はいまのところで12.3%接種率です。

質問 65歳以上ですね。

回答 その通りです。

質問 予防的にこれだけ額を積んでるってということですが、10%程度であれば逆に補正で取ってもいいように思うがどうか。

回答 去年は22%ということで、同じぐらい接種をいただける見込みで、予算編成時に見込んでいます。もう当初からわかっている事業については、額は少なくとも計上はさせていただきたいと思っています。

質問 予算計上したのは、実績に基づいた数字で計上されているということですよね。

回答 実績に基づいてプラスアルファしたということです。

●産業振興課：農政係

質問 環境保全型農業の増額について、農家さんが取り組み面積の規模拡大をしているからか、それとも農家数自体が増えたのか伺いたい。

回答 農家数につきまして変化はありません。有機に取り組む栽培面積が増えたことによるものです。

質問 新規就農総合支援事業について、去年までは相当額の予算でしたが、使用する方が終了したということか。

回答 その通りです。

質問 今現在は新規就農2名だけということか。

回答 その通りです。

質問 8年度からこの事業は、1割増になると聞いているが、8年度予算には反映しているのか。

回答 それは今度予算が通ってから、次の議会に補正予算として計上する予定です。

質問 8年度以降に新規就農が採択された方は165万円になるということですね。

回答 そのとおりです。

質問 中山間地域直接支払事業について田島平分が今年度外れた経緯を伺いたい。

回答 田島平については集落を構成する単位が小さく、申請の手間も含めて集落内の内部で検討した結果と聞いております。

質問 はい差し支えなかったら、どこの集落か伺いたい。

回答 前沢平です。

質問 J回答選果場出荷補助の廃止について、農家さんから何か意見が出ているということはないか？

回答 今のところはありません。

質問 この件について果樹農家さんは、ご存知なんでしょうか。

回答 こちらはJ回答果樹部会の方で広報等をされることになると思います。

質問 村の出荷補助金がなくなるということについては、果樹農家の皆さんははご存知ということではないんですか。

回答 こちらにつきましては周知を図っていきたいと思います。

質問 中山間地域の直接支払いについて、その使用実態をどのように把握されているか伺いたい。

回答 この事業は国の事業ですので、国の様式で細かく申請書類、実績書類、提出を集落に求めています。その集落協定というものに基づいて活動していただいております、その実績についても県と国の検査の対象となっておりますので、村としては実績報告、あと現地確認を通して、適正に利用されていることを確認しています。

●産業振興課－耕地林務係

質問 森林環境譲与税の使い道は法律上限定されており、使い道については公開することになっているはずですが。ですから使い道については一覧表にして、きちんと出すべきだと思います。また、特定財源で使い道も決まっているので、今回挙げた項目がどれに該当するかも出すべきだと思いますが。

回答 森林環境譲与税は法律で充当できる内容については定められております。予算書上は一般財源の譲与税として予算書上の記載になりますが、何に充当したかは決算情報公開が義務化されておりますので明示できるようにしたいと考えます。

質問 森林環境譲与税は今回も調査業務が1件入っていますが、7年間続けて調査業務というのは税の使い道としては目的から外れてるんじゃないか。

回答 調査業務は令和6年度に村内全域で森林解析調査を行いました。いま年度ごとに行っているこの調査は実際にその森林整備に向けて必要な情報を調査するために行うものです。

質問 毎年行っている調査ということですが、樹種の調査、検討は前にやっているはずで調査はだぶっていませんか。

回答 だぶってるところはないです。

質問 でも樹脂の調査、前やられてますよね。

回答 それは全体の解析調査で衛星画像を使って大きく村内全域を行ったものです。新たに森林整備をするとなったときにはその情報だけではできないので個別の調査を行うということです。

質問 森林整備を行うための調査をスポットごとに行うということは、整備するときに永遠に調査することになりますよね。

回答 そうです。

質問 調査事業費かかり過ぎになりませんか。

回答 森林の現地調査は必ずやらなければ森林整備はできないので、それはスポットごとに毎年や
っていく必要があります。

質問 これどは村の人がやっているのですか。

回答 これは委託先です。

(意見) 森林環境譲与税は、できる限り村の中に落ちるようにした方がよいと思います。

質問 美しい森林作り基盤整備交付金の交付先はもう既に内定しているのか、それともこれから申
請を受け付けるのか。伺いたい。

回答 この基盤整備交付金については、ほぼ今のところは交付先が決まっております。村内の業者
で、森林の所有者と、おおよそ話ができているところで予定しています。

質問 次年度以降、片桐と葛島の財産区もいずれ対象となるのか伺いたい。

回答 美しい森林づくり基盤整備交付金は、今まで国の補助金では、その伐期が年齢の低い森林と
いう制限がありましたが、その伐期が大きくなった森林も整備ができることとなります。

質問 村有林保育業務の松川三林の搬出間伐作業道開設とは、橋がもう少し大きければもっと効率
よく搬出できるといったことと関連する開設なのか。

回答 そうです、宮ノ沢橋については大きな運搬用のトラックが通れないところがあるので、ここ
については、いま現在はその搬出間伐を検討しています。

質問 鳥獣害防止対策事業のクマ対策について議会最終日をめどにこの補正含めた対策を議会へ
提出をする検討をしているとのことですが、実際にそのタイミングで出せるのか伺いたい。

回答 はい。補正については現在行う方向で考えております。

質問 議会最終日に提案があると考えてよいか。

回答 はいそのように考えております。

質問 林業振興事業の中の危険木伐採業務は伐採処理するを想定して予算を計上しているのか伺
いたい。

回答 伐採の箇所について、病虫害の被害対策業務等について明確には決まっていないというところ
があります。危険木の伐採業務は毎年各地区から要望が上がってきますのでその中で優先順位を
つけて伐採箇所を決めております。経営管理制度関連業務の伐採業務については、今のところはほ
ぼ決まっています。

質問 美里、桑原危険木伐倒処理は地区要望ですか。

回答 そうです。美里桑原は過去に地区要望が出ていたところでした。

質問 緊急銃猟対策について、要員の選定やマニュアルづくりはどんな状況か伺いたい。

回答 緊急銃猟は村の猟友会の中で話は進んでおりまして、先日も伊那市で緊急銃猟の実地訓練も行っておりますし、緊急銃猟をしたときの報酬などについても話し合いを進めているところです。

質問 経営管理制度関連業務中の現地調査の部分と災害予防伐採がひとくくりになっていますが、400万の費用の区分がされていたら伺いたい。

調査費用としていくら災害ば中身全然違うと思うんですが伐採の費用としていくらというふうに見積もっているのか。

回答 森林現地調査の方が150万円。それから災害予防伐採の方が250万円です。

質問 これは調査業務を受けた方が採択するんですか。

回答 伐採する方と調査は別の業者です。

質問 これはどうして予算をひとくくりにしたんですか。

回答 森林譲与税を充てる経営管理調査ということでまとめました。

質問 内容は全く別なので別に分けていいですよ。二項目とも森林環境譲与税を使ってはいけないものではないので。

回答 はい申し訳ありません。起債の方の附則でありましたので。

●産業振興課：交流センター係

質問 方針の集落支援員は具体的にどういったことを期待して導入するのか伺いたい。

回答 集落支援員というのは集落から地域の活性化を図るという制度です。今現在はSさんを集落支援員として引き続き活動もらうように予算化をしました。

質問 Sさんが今までにやったことを引き続きやるための予算と解釈でよいか？

回答 その通りです。

質問 財政係が取り組む令和8年度の企業版ふるさと納税と、交流センターのふるさと納税とどのような連携をとっているのか伺いたい。

回答 企業版ふるさと納税は企業の皆さんからご寄付をいただく制度で、我々が所管をするふるさと納税制度は個人からの寄付とですので、連携をするということはなかなかないと感じています。

質問 制度的には別の制度だという考え方でよろしいか。

回答 はい。

質問 すると扱うものもそれぞれで抽出してやっていくような考えでね。

回答 私どもの理解では企業版ふるさと納税は返礼品を設けるような制度ではありませんので、我々個人のふるさと納税の制度とは全く異なるものと理解をいただいた方がよいと思います。

質問 ふるさと納税の来年度 9000 万円を見込んでいますが、これは今年度の実績ということによるしいか。

回答 今現在 8600 万円ほどのご寄付をいただいております。その実績から来年度当初は 9000 万円の歳入を見込むという計画です。

質問 返礼品で工場製品で開拓できそうなものはないか伺いたい。

回答 工業製品にも力を入れてまいりたいので、皆さんにもご支援をいただいて返礼品を確保してまいりたい。

質問 地域おこし協力隊員の委嘱型週 3 日と書いてあるのは何のことか。また、令和 7 年度の予算書では、ここは「地場産品のプロモーションおよび交流事業を推進するため、地域おこし協力隊員を配置する」ということだったんですが、令和 8 年度も同じミッションが与えられているのか。

回答 昨年度採用した地域おこし協力隊員は農業観光の推進を主なミッションとして活動しております。農業観光の推進ですのでプロモーションから全てが入ってくると思いますので、今年度の方針の書き方は若干整理をしました。あと委嘱型週 3 日とありますが、地域おこし協力隊員が起業を今予定しており、地域おこし協力隊員としての活動の日数を週 3 日の活動とし、残りの日数については自分の起業ためにしっかり時間を使っていたきたいということで今年度と来年度については週 3 日の活動をお願いする予定です。

質問 農産物加工施設劣化対応と挙げられておりますが、そもそもあそこの売り場もあったよね。

回答 売り場自体は現在他の目的で使っておりますが、スペース的にはそういったスペースは作られておりました。

質問 本来の売り場の活用はしていないということだが、その分も含めてこの劣化対応というのは加工施設どの部分か伺いたい。

回答 農産物加工施設劣化対応につきましては売り場の外側のウッドデッキの壁の劣化が激しいため外壁修繕を予定をしています。また、当初設置した売り場はいま他の用途で使っておりますが、交流センターが隣接して設置をされましたので、つくっちゃオで作られた商品につきましては交流センターを売り場として活用しています。

●産業振興課：商工観光係

質問 観光施設管理事業工事請負費の陣馬形山展望台周辺整備工事は、昨年度予算にも同じ名称で55万ありました。過日の全員協議会の席上でデッキを敷くという説明がありましたが、それは8年度に施工するという意味だったんですか。

回答 その通りです。2年間かけてデッキを作る構想を当時は計画として説明しました。

質問 そうすると新規というよりは継続件名って捉えた方がいいのか。

回答 はいその通りです。実質は継続事業です。

質問 予算書の92ページに枯損木伐採業務があるが、これは陣馬形山キャンプ場および登山道周辺の危険木の伐採に当たるのか、確認ですが。

回答 こちらは、令和7年度も山頂から山道に係る枯損木の伐採を実施しており、5ヶ年計画で少しずつ下がっていく計画で進んでおります。令和8年度も引き続き取り組む予定です。

質問 シェアオフィスの施設管理体制の見直しとは、どのような見直しなのか伺いたい。

回答 シェアオフィスは元地域おこし協力隊のTさんに住み込みで週の半分管理をしていたもらい、残りの半分は会計年度任用職員が管理する形ですが、Tさんも自分の事業がありますので開ける時間が徐々に増えてきているような状況があり、常に管理者を置いておかなくてもいいような体制を構築したいと考えて、システムを作り直すなど、1年間かけて効率的に管理できるような体制を作りたいと現時点では考えています。

質問 県外、東京や愛知で地場製品をPRするのは商工業振興事業補助金330万円の中に含まれる費用という理解でよろしいか。

回答 この商工業振興事業補助金自体は村内の事業者が、老朽化や事業拡大を目的に事業所を改修したり、それにかかる設備を更新したりする際に使えるような補助金です。村外に出て行ってPRするための補助金は観光部局では現時点ではありませんが、観光協会の方で次年度から少しですが補助金のような形を作っていきたいと今検討をしています。

質問 そうすると産業振興課の予算の中では、そのようなイベントにかかる費用はないということでしょうか。

回答 現時点ではそのような補助金はありません。

質問 土地政策係から東京のふるさと回帰センターと新規に契約して、イベントも開かれるという説明がありましたが、観光協会も含めて何か構想はあるのでしょうか。

回答 その担当は交流センター係なので、今ここでは述べられないです。

質問 村観光ビジョン策定業務負担金について、これの活用について伺いたい。

回答 観光ビジョンを生かす前の話で、観光振興をの指標になるような計画にをつくりたいと考えています。

質問 今までもこういう観光関連の計画だとか、ビジョンなどはなかったのですか。

回答 総合計画の中に当然うたってはいますけども、個別の計画で観光計画、観光関係の計画はないと思います。

質問 地場センター管理事業、チャオおよびチャオ周辺の再整備の検討と、望岳荘運営方針検討委員会の実施は、当然観光ビジョンと連携して進めていくということで、間違いないでしょうか？

回答 はい、間違いないです。観光ビジョンを定めてからにするか、固まってきた段階で並走しながらになるかは会の進み具合で考えていきたい。

質問 チャオ周辺も望岳荘も大変重要な村の施策だと思うが、来年度のタイムスケジュールとして、その計画策定が何年ごろになるか、わかる範囲で伺いたい。

回答 観光振興計画ビジョンで9月策定を目指しております。

質問 チャオと望岳荘それぞれはいつ頃か。

回答 具体的に日程的なものは定めてはおりませんが、ビジョンの計画策定を9月に予定していますのでその周辺で動き出せるかなと考えています。

質問 令和7年度に新規で始まった中小企業人材育成補助事業ですが、令和7年度での利用実態を伺いたい。

回答 令和7年度に新設した補助金ですが、周知不足で今のところ実績はゼロです。相談は2件ありました。

質問 特産品等の創出支援事業は利用実態に合わせて縮小したようですが、もっとこうだったら使い勝手が良いものになるという話なのか、あるいは皆さん特産品を何か出そうという気があまりない話なのか考えを伺いたい。

回答 もう少しこうだったらっていうようなお話は記憶してないんですけども確かに利用しやすく制度を変えていくっていうのは常に考えていかなきゃいけないとは思っていますので、ちょっと皆さんの実態をお聞きしながら、次年度考えていきます。ただここ5年程度を見直してみて、実際180万円の予算いっぱい使われるということはなかったもので、半額にしようかと判断をいたしました。

質問 観光事業の財源で宿泊税市町村交付金をディステーションキャンペーンに使うという話がありましたが、財政係の方は令和8年度にまず基金にして、それを令和8年度に観光商工観光の方で使用計画を策定して使い道を決めますという回答をもらっているが、既にこういう使い道ですと決まってる理解でいいのか。

回答 中川村の場合は今現時点でディステーションキャンペーンの負担金に当てていいと県から回答をもらっているので充当しております。

質問 それについては財政係との調整終わってるんですか。

回答 はい。

(委員長) 質問は財政係の説明で交付金については一旦基金に入れるという話をここで説明されているので、そこはきちんと調整されたのかどうかという質問だと思うんですが。

回答 とりあえずは基金に入ります。そして県にOKされる場合には、そこで初めて聞き入れられるという話です。その詳細なスケジュールはまだ示されておられません。

質問 だけど、予定としては、この負担金に入れますってということなんですか。その一部を。

回答 はい。負担金に充てた分はそのまま負担金として支出をして、それを抜いた部分を基金に今積み立てる予定であります。

質問 それについては財政と調整終わってるということですね。

回答 はい。

質問 観光事業の陣馬形山の3項目の施設整備ですが、施設の指定管理との連携調整はとれているのか伺いたい。

回答 令和7年度に指定管理者と相談をして、この構想でいく計画を立てましたので大丈夫です。

質問 観光ビジョンの策定が委託料じゃなくて負担金になってるのはいずれかの団体にこれを出すということですね。

回答 はい。これは観光協会の事業として取り組んでますので、まず村から観光協会へ負担金として、支出をするという形でこの金額になってます。

質問 観光協会の方でさらに委員の皆さんへの報酬だとか、会議開催に係る様々な経費を上乗せしながら予算化をしているようということですね。

回答 はい。観光協会から委託支援の会社に対して委託をいたします。

質問 これは前年から引き続いた業者さんに委託するってことになるんですか。

回答 引き続きその予定でございます。

●建設環境課：建設係

質問 パークハウス滝戸の電気温水器の入れ替えはエコキュートにする予定ですか。

回答 今のところそういった入れ替えをすることは考えておりません。

質問 木造住宅耐震診断について、令和7年度は今現在のところ、どのぐらいの利用があったのか、またその上での今年のこの予算の計上なのかということ聞きたい。

回答 現在の実績では耐震診断を新たにされた方が7件にあります。うち改修工事が5件と、それとは別に建て替えの除却補助が2件合計7件です。来年度3件の計上は改修希望が1件と今後の診断等も踏まえて3件を見込んでおります。

ちなみに年明けに要望調査を行ったところ、今のところ4件の診断要望が来ておりますので今後も要望等を聞きながら対応します。

質問 地方創生推進事業の3世代同居支援事業の相対的な制度見直して、どういうことなんでしょうか？

回答 この事業は村の建設課だけではなく保健福祉とか地域政策課とかも含めて、子育ての関係の補助ということでやっておりますので、子育て施策を全体的に均衡を図りながら継続して進めるために制度の引き続きの検討を行うという意味です。

質問 ライフライン等保全対策事業の支障木伐採について、令和7年はどこをやって令和8年はどこを想定しているかちょっと教えていただきたい。

回答 令和7年度に挙げた沖田牧ヶ原線の中学校下の路線の支障木伐採は県の事業採択ができなかったのと同じ路線を8年度の申請をしております。

質問 道路維持管理業務の支障木伐採、公園管理の支障木伐採は、台風・雪などの状況により要望が上がってくると思うが、予算720万円のうちどの程度使用できるか。

回答 道路の支障木伐採の予算としては200万円ライフラインの事業を含めて200万円ということで計上してあります。

質問 それぞれ緊急のときは、またやっていただけるっていうことでよろしいですか。

回答 個人の問い合わせについては一旦地区から上げていただいて現地を確認した上で対応していく事になります。最近は支障木が増えてきているので、早め早めに現場と確認しながら予算措置の方も検討していきたいと思っております。

質問 公園管理の支障木整備は、いろいろな公園の支障木も含めるってことでよろしいですか。

回答 公園管理費の委託料の支障木等整備は170万円計上しています。そのうち150万円は大草城址公園の大ケヤキの伐採を予定しています。こちらは県の補助をいただいて実施をします。それ以外の20万円持っているんですがそれは先ほど言ったように、村内は村が管理している公園の危険性のある支障木や地区からの要望等も踏まえて伐採を行っていきます。

質問 工事の早期発注についてはどう考えているか。

回答 村としても早い時期に発注をして、冬季にかからないようなことで発注工事を終えたいっていうのは大前提で考えています。

●建設環境課：環境係

質問 太陽熱利用機器等導入促進事業は太陽熱温水器のことでしょうか？

回答 はい。対象になるものは太陽熱温水器です。

質問 ちなみに1基あたりいくらぐらいの補助を考えていますか。

回答 設置に係る対象経費の3分の1以内で上限は1件20万円までとしております。

質問 これは県の方で始めたのを受けたんですか。それとも村独自ですか。

回答 こちらは村独自のものです。

質問 既存住宅エネルギーの補助額と補助率を教えてください。

回答 これは県補助に上乗せ補助をするもので、令和8年度から拡充して県と同額を補助することになります。太陽光発電システムの設置は5万円を上限、蓄電システムの設置につきましては15万円を上限、V2H充電システムの設置につきましては20万円を上限に拡充をしております。

質問 広域連合の八乙女クリーンセンター運営費公債費2899万9000円は昨年比で運営費が増えたのかそれとも公債費が増えたのか。

回答 維持管理費の増額です。

回答 リチウムイオン電池の回収を一本化するための費用が増えているということです。

質問 特定外来植物駆除等業務について毎年予算が変動している理由と、このぐらいの予算で足りるのかという点と、これに関する特定財源は全然ないものなのか伺いたい。

回答 実施の際に若干去年よりも減ったかなということで減らしてはおります。ただ実際にやる段階になると、できる範囲でやっているというのが現実で、全て除去できているわけではありません。

予算の中で毎年やっているという現状です。

質問 これはどこへ業務委託してるのですか。

回答 こちらはシルバー人材センターです。

(要望) 最近はその種類と量も 50 倍になっているといった話もあるので、県とも相談していただきたいと思います。

回答 ご意見として承らせていただいて、県との連携等の会議等がある際にそういった意見があるということをお伝えして、何かしら手を加えられればというふうに思います。

(意見) 特定外来生物の除去はシルバーに委託しているだけでは限界が来ており、住民参加型の人海戦術で進めるよりないので、そういった工夫をした方がよいと思う。

質問 地域おこし協力隊による創電事業の調査研究は 8 年度は何をやられるんですか。

回答 こちらの協力隊員は電力供給事業体の設立に向けて奔走しているところです。今年度中にはある程度事業体が形になってくるので、その事業体がさらに活動できるような下支えを中心に実現していくように取り組んでいくと活動を令和 8 年度は予定しています。

●建設環境課：水道係

質問 予算書に記載のある浄化槽 5 基は、これは更新なのか新規なのか。

回答 はい、新規です。

質問 といいますとこれは新たに家を作った方がやるっていう認識ですか。

回答 そういう方もいますし、修繕ではなくて浄化槽自体を入れ替える方も対象になります。

●建設環境課：リニア対策室

質疑討論はありませんでした。

●教育委員会・総務学校係

質問 はい。では小中学校の建設事業の、新たな学校建築に係る技術支援業務、新たな学校建築関係調査研究業務、中学校校舎老朽化調査業務について、どの事業の誰が一番中心になっていくのか伺いたい。

回答 体制としましては中心は新たな学校作りプロジェクトの支援業務が一番のメインになってきますので、こちらのコンサルが中心にまとめます。

質問 今の建物をどの程度改修すればどの程度の費用となるかという大筋は 8 年度にある程度の結果が見えるのか？

回答 8 年度の前半でその改修・改造改築についての検討の方を進め、予算規模についても確認をして、8 年度の後半にプロポーザルの検討を行い、設計者の選定の方を行って令和 9 年度から基本計画、基本設計の方に入っていきたいと考えています。合わせてこれまでの新たな学校づくり委員会をつくりかえて仮称ですけど新たな学校の準備委員会や建設委員会を立ち上げて、検討の方を進めていく予定となっています。

質問 設計会社が入る新たな学校建設に係る技術支援業務 55 万円このところが、コンストラクションマネジメントに当たるという考え方でよろしいのでしょうか？

回答 ご指摘いただいた通り、そういったところでの専門家の目線での予算の計上とかそういったところを予定しているところです。

質問 はい 36 ページ、教育委員会事務局費の関係で、2 点あるんですが、1 点目、一番下の補助金の高校生等就学支援のところ、これに 2. 3 年生に 50 万ってありますのが、これ 5 万円ですね。

回答 5 万円です。(字句修正)

質問 委託料の水泳授業指導業務委託の委託先と年間 5 回の内容を教えてください。

回答 委託先は駒ヶ根市の回答 F 回答 S 伊南、水泳の 5 回とは各学年ごと 5 回ということです。

質問 全ての子供がひと夏で 5 回は受けられるということですか。

回答 はいそうです。

質問 奨学金返還支援について財政の方で奨学基金を 2000 万円増やすということですが、どんな実態があるのかということと、使う人が増えた場合に予算が足りるのか伺いたい。

回答 奨学金に関しては過去に増額したことと返済期間を延長したことで、基金の残高が不足する可能性があったので、過去の実績から増額分を計上しておりますが、もし足りなくなるようであれば補正の方をかけていきたいと考えております。

質問 フリースクールと未来塾の指導者の方を双方向で仕事をしてもらうようなことは考えられないか。

回答 フリースクールと地域未来塾は別物とご理解いただければと思います。

質問 学校給食センター運営事業の交付金の内、子育て世帯支援学校給食費交付金 661 万 7000 円は小学校の給食が無償化になれば、ここは減るということですか？

回答 国の方からは、給食費負担軽減交付金という形で小学校分が入ってきます。それをうちの場合は、公会計じゃなくて別の給食費になってますので会計がそこを受けて、補助金として出します。最終的に中学校のみの3ヶ月分だけになるので減額になります。

質問 国の予算が確定すれば、中学校のみになるので、ここは減るという理解でいいですね。

回答 その通りです。

質問 フリースクール等利用補助は昨年より大幅に増額していますが、それを利用する方の傾向ですとか、この予算の根拠を教えてください。

回答 今年度当初の見込では、学校がそのフリースクールに行った場合に出席扱いにするというところだけを補助の対象にしていたんですが、長野県のフリースクールの認定制度では、特に出席扱いにするかしないかが認定要件になっていないということがありましたので、今年度中に要綱等は改正して、幅広い方が利用する場合に支援をできるようにしたことでその分が増額となっています。また、8年度についてはどの程度利用の見込みがあるかということがまだはっきりしていない部分もあったので今年度の1学期2学期終わって想定ができるようになったので予算の方は精査した上での計上です。

質問 給食費交付金のところでフリースクールなどに通う小学生への昼食費の支払いや援助のようなことを、今の時点で考えているかどうか聞かせてください。

回答 現時点ではどういった対応をするか決めておりません。

質問 給食の試食用食材費がありますが、議員の試食会は開催できますか。

回答 試食会をしたいと申し出があれば給食センターと調整して、そういった場を設けますので事前にご相談下さい。基本的に給食のある日であれば対応できます。

質問 小中学校新入学児童カバンが去年の数と一緒ですが実際何個になるのか。

回答 来年度の新入学の予定数で東小学校が9人と西小学校が19人です。中学生については、今の小学校6年生が34人ということなのでその数で計上をしています。

質問 令和7年度と同じ数量で8年度は予算額が増えているがランドセルが値上げしという理解でいいですか。

回答 その通りです。物価高騰の影響ありまして1個当たりの金額が増えています。

質問 オンライン国際交流事業体の学校との英語のオンライン交流の55万というのは、どうやって予算額を決めてどこに支出するのか。

回答 今年度トライアルをしており、現在回答 LT の派遣業務している回答 toZ さんがいろいろな調整をしてくれており、そちらへの支払いということになります。

質問 オンライン交流をタイの学校と、今回やるということですが、今回やってその後のことは引き続き何か考えていくのか。今回だけで終わってしまうのか。

回答 実施しての様子にはなりますが、子供たちの英語や異文化理解を伸ばしていけるようであれば継続して行ってはいきたいと思います。子供たちの様子を見ながら今後の事業については検討していきます。

質問 このオンライン交流の契機と事業目的を伺いたい。

回答 契機となったのは小学校の英語の先生の方からご提案をいただいたもので、特に国や県から指導があった訳ではありません。事業目的は英語を覚えても使う機会が少ないというところがまず大きいということがありました。加えて回答 LT の先生も、できれば同年代の子たちとの英語を使っての交流を行いたいという希望がありましたので、今回計上いたしました。

質問 予算書 120 ページの平和学習引率業務 3000 円と内容を伺いたい。

回答 過去には満蒙開拓団の記念館に行った際の村費の先生の旅費などを補填している部分で、行き先によっては変わるかもしれませんが、そういった学習の引率にかかる公費で見てもらえない部分を補填するものです。

質問 小学校管理費等の東小が調理室で西小が家庭科室のエアコンになっているが、これは同じなのか、それぞれ家庭室と調理室があるのか伺いたい。

回答 それぞれ別で東小学校の方では調理室の方の使用の機会が多く、西小学校は家庭科室の使用頻度が高いということで、それぞれの要望で上がってきたところを優先して予算計上しています。

質問 そうすると 9 年度も出てくる可能性があるってということですか。

回答 跡地利用にも関わってくる部分だと思いますので、そのあたりも調整をしながらということになってくると思います。

質問 東小の特別支援学校支援員（フルタイム）が 2 人いるが、西小学校のフルタイムには英語教室東小学校兼務の 2 人が入っていて、西小の方は特別支援学校支援員（フルタイム）がいないのはなぜか、理由を聞きたい。

回答 これは対象となる児童が東小が多くて西小が少ないので、東の方に支援員さんが多いということです。特別支援学校支援員は、その年の対象数で変わってくるということです。

質問 中学校の部活動指導員のチェック機能についてどのように考えているか。

回答 中川村では部活動指導員は保護者が多いのと、ほぼ村内の方がなっておりますのでその方た

ちをチェックする機能的なものは今のところはないですが、今後地域展開が多分地域を超えてエリアでやっていくような形になっていくと思うので、チェック体制は今後考えていく必要があろうかとは思っています。

(要望) 部活動を行っている生徒の方から情報が入るようにしていただきたい。

質問 部活動指導員の予算は今年度減額した理由を伺いたい。また、財源の補助金は同じ額がくるという理解でよろしいか？

回答 予算の減額はここ何年かの実績から精査をして減額したということです。部活動指導員の補助金に関しては来年度から制度が変わりまして、1/2 補助だったものが、次年度から 2/3 補助になる見込みです。

●教育委員会—社会教育係

質問 「分館活動のあり方の検討」について伺いたい。

回答 分館活動はそのまま継続です。ここに記載の「あり方検討」とは分館から女性部という組織の役員を出してもらってることについて、来年度検討を進めるということです。

質問 中川村美術館管理事業について、村のホームページでアトリエ棟を貸し出しますという記事を見たが、その収入は何かの財源として予算書には計上されるのか。

回答 今回のアトリエ等の一般貸し出しについてはその費用については村へ戻すわけではなくて、指定管理団体の運転資金として見込みますので、村への直接的な収入には入れておりません。

質問 同じく美術館の修繕料の一般修繕で 40 万の具体的な内容を伺いたい。

回答 これは突発的に起きた修繕を見込んでいて、突発的に発生した建物の軽微な修繕に対して使うようにしている予算です。

質問 大ホールの空調設備の更新は大きな事業ですが、大ホールの空調の不具合の状況を具体的に伺いたい。

回答 特に冷房ですが、大ホールの空調施設は夜間に氷を作っておいて、その冷気を配管内に通して館内を冷やすという蓄氷システムを使っていますが、その蓄氷の温度を感知するセンサーが壊れているため、そのセンサーの役目を人間が現場に行っておんオフをする状態になっています。また、そもそもそのスイッチが故障してしまうと、今度はもう基盤の問題で、基盤の取り替えがきかないということで、全部取り替えということをお聞きしております。また、そのスイッチが故障すると今度は冷房もつかない状態になってしまいます。

質問 そうすると全部入れ替えということじゃなくてその冷房の蓄氷部分だけを修理するという
ことで約1億かかるということですよね。

回答 熱源のみの取替です館内の配管はそのままで、熱源のみの取替でこの金額になっておりま
す。

質問 この空調工事の工期はどのぐらい考えてるんですか。

回答 工事期間は1ヶ月から2ヶ月ぐらいと言われてますので冬場の一番利用の少ない1月2月
あたりの工事を考えていますが、物自体は半年くらいと言われているので、早々にまず設計をし
て、契約自体は早々に動き出して物を作るのは外部で作って動かしておいて、工事自体は来年の
冬場に取り替えをするという流れになると思います。

質問 蓄氷の方式はそのままなんですか。

回答 建設当時はそれでしたが、今回は通常の方式です。

質問 オンライン予約管理システム使用料について、この金額で間に合ってるのかどうか、伺い
たい。

回答 現在のオンライン予約システムは長崎県庁が作ったシステムを運用しておりますので安い
金額で使えています。

●会計室

質問 印刷製本費は昨年度予算が55万円ですので減っておりますけども、ペーパーレスの効果が
出てきているという評価ですか。

回答 今年度の利用実績では封筒や封筒の印刷代など、少し多めに金額計上しており、それほど
利用実績がありませんでしたので、その分金額を減額としました。

質問 それはDXとかそういう効果ではなくて、実際は去年の予算は見積もりが多かったという
ぐらいの話ですね。

回答 はい。そうです。

質問 会計管理費の上のところに書いてる新規拡充継続って書いてアル信金を書いてあるところ
の月額9ヶ月分でプラス5万円。次の拡充のところは、八十二長野銀行とゆうちょ銀行について
は、質問Rコードがないものは手数料7万3000円が増えるってことでよろしいんですか。それか
らその次の上伊那農業これについては、手数料が令和7年4月から有料化って書いてあるんです
が、ちょっと教えてください。アルプス信用金庫のシステムの関係は、月額利用分9ヶ月分とい

うものは、毎年かかってくるものになりますんで7月から始まるんですよ。

回答 そうです。

質問 2点目についてもプラス7万3000円とありますが、必ずかかるというものではなくて、実際にまだどのぐらいの枚数がかかってくるのかわからないので、そういうことですね。

回答 少し多めに計上しました。3点目の件なんですけど、こちら一律ではなくて、金融機関によりまして、3万円未満か3万円位以上かによって、金額も変わっていきますので、上伊那管内の金融機関ではない他の金融機関に振り込む場合は、県内でしたら、240円が1件につきまして、かかりまして、あの県外でしたら1件につき440円とかかかってきます。

質問 わかりました。8年度やってみてそれでようやく出せるって感じですね。

回答 そうですね。

●議会事務局

質問 議会費のペーパーレス会議システム使用料出てますがシステムのインストールは今年度予算でしたか。

回答 今年度予算です。今年度予算でやります。

質問 もう3月中旬ですが。

回答 今月中には研修を開く予定であります。

質問 議員共済費はいつ終わるんですか。

回答 受給されている方の支払いがある間はずっと続くということです。

去る2月27日の本会議において予算特別委員会に付託されました議案第20号令和8年度中川村国民健康保険特別会計予算、議案第21号令和8年度中川村介護保険事業特別会計予算、議案第22号令和8年度中川村後期高齢者医療特別会計予算について、3月16日に役場本会議場におきまして委員10名出席の下、関係課長・係長に説明を求め慎重に審査を行いました。

審査の結果は、委員全員の賛成により認定すべきものと決しました。

三件の特別会計についての質疑は以下のとおりです。

国民健康保険特別会計

質問 国民健康保険事業の給付金額が増えていることについて、加入者の増減と制度を変えた点も含めて実体を伺いたい。

回答 被保険者数は直近の数字ですと 924 人で、全県的全国的にも被保険者は減ってきています。理由としては、現在は定年離職が 65 歳となった事があります。中には会社勤めを継続して国民健康保険に加入することなく、75 歳後期高齢者へ行かれる方もいらっしゃいます。そんな現状を踏まえると、さらに減少すると思っています。

質問 長野県の中で医療費について中川村がどんな位置にいるか、また、市町村の医療費が高かったら、応分の負担で増えてくということになるのか伺いたい。

回答 国保の一人あたり医療費で見ると、中川村は全県の 62 位でかなり低い位置です。中川村の医療報酬は人数が減っていても増えていくのは、1 人当たりの診療の金額が高くなっているからです。

質問 将来的に人口は減るが国保税は逆に増えるという認識を持っていた方が良いわけですね。

回答 そうです。人口が減少しますので皆保険自体もおそらくはしぼんでくるはずです。

介護保険事業特別会計

質問 保険給付費について認定者数の増加はどの程度見込んでいるのか伺いたい。また、介護度との関係についても伺いたい。

回答 介護の認定者は令和 7 年度に前年度より 10 人前後多くなってしまっておりますので、令和 8 年度も実績としてプラスになっています。また、介護度 3 以降ですと介護保険も相当額使える給付もかなり増えます。

質問 来年度の介護保険料の改定ですが、包括支援事業の方の単価も同じように年に変わるということでしょうか？

回答 総合事業のことと思いますが、総合事業は村の事業ですので、3 年に一度ではなくても毎年でも変えられますが、やはり 3 年に一度見る方が、いいかなとは思いますが。

質問 包括支援事業は前年度比 1.02%ですが、総合事業の方の単価が長期間上がっていないと聞いてます。あんまり上げないのは今のご時世まずいのではないかと思います。

回答 確かに総合事業はずっと据え置きできてしまっていて、上げる時を逸してしまったという気もしてます。昨今の原油高等を見ますとガソリン代だとか燃料費も高騰してますので来年度あたり少し改定ができればという気はしてます。

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計については、質疑討論はありませんでした。

去る2月27日の本会議において決算特別委員会に付託されました議案第23号令和8年度中川村水道事業会計予算、議案第24号令和8年度中川村下水道事業会計予算について、3月12日に役場本会議場におきまして委員9名出席の下、関係課長・係長に説明を求め慎重に審査を行いました。

審査の結果は、委員全員の賛成により認定すべきものと決しました。

審査の過程で出された質疑、討論は以下の通りです。

●建設環境課：水道事業会計

質問 配水および給水費のうちの動力費、配水池の電気料は昨年度予算に比べて30万円の減になっていますが、7年度は電気代、光熱費が上がって、一般会計の方から補助した経過がありますが、この予算で大丈夫ですか。

回答 これまでは中通りの配水池から針ヶ平の配水池へポンプ圧送していますが、そちらを基本的には動かさずに、令和8年度は飯島町からの受水に伴いまして、針ヶ平の配水池から中通り配水池への自然流下という形で新たに給水エリアを広げていくということになりましたので、そのポンプの動力部分の減を見込んでおります。

質問 飯島町の用水供給使用料が100万円の減なんですけど、その理由を伺いたい。

回答 今年度の実績も見ながら予算の方を計上したということです。

質問 総務費委託料のところでは経営戦略の改定業務が、今回の狙いはどのように考えてますか。

回答 今回、改定にあたって大きな事業としては、沢入浄水場の更新と施設の老朽化で、かなり維持管理費や管路の改修等が必要になってくるので、これから経費はどんどんかかるかなというふう

には想定しているのですが、そういった課題にどう対応していけばいいのか。金銭的にどういうふうに対応していくか。端的に言えば、水道料の値上げとか、そういうところも考えなければいけないという時期に差し当たっているのです、そういったことを踏まえながら経営戦略の策定ができればというふうを考えてます。

(要望) 今言った狙いはぶれないようにしっかりとやっていただきたい。

質問 8年度は有収率いくつで見えますか。

回答 有収率は上昇率と1%ぐらいを見込んで、今年度は74%程度を見込んでいます。

質問 漏水の調査委託は具体的にどういう事業なんでしょうか。

回答 漏水調査の総括的なところでは衛星調査の結果は全く駄目だったというわけではなくて、おおむねの位置等は衛星調査で可能性がある場所は判明をして、その修繕を行いました。引き続き令和8年度もこういった外部へ委託をして現地で漏水調査を継続してやっていきたいというふうに考えております。

質問 衛星調査でやるということですか。

回答 衛星調査ではなく現地の実地の踏査をして調査を行う方法です。

質問 三町村で買ったあの漏水調査機械はまだ生きてるんですか。

回答 共同で購入した漏水探査機の事と思いますが、一通り全町村使ってはいますが、あまり思いわしい結果が出なかったということで場所に応じて使用している状況です。

質問 漏水が発生する場所は村の中で何か傾向はあるのですか？

回答 どこの地区がとりわけ多いとかそういったことはありません。

質問 漏水調査については大幅に有収率落ちた際に大口の漏水があるという話があったと思います。それについてもどうすればよいかという提案もしたと思いますが、その後どうなったのですか。

回答 まずその件は横前と柳沢の山の中であるという話をして、横前については布設替えをしてきているので、調査は終了しています。柳沢については管の位置が特定できずに難しかったということです。

質問 資産管理上から考えても、水道管がどこにあるかわからないのは非常にまずい状態だと思う。台帳上の位置に水道管がないということであれば、企業会計としては非常にまずい状態だと思うので、それは早く解決すべきと思いますが。

回答 おっしゃる通りどこに管が入っているのかわからないのは非常に厳しい状況かなと思います。今後はある程度の資金をかけて、管路の整備をして適正な企業会計の運営をすべきと思っていますので、今後の課題とさせていただきます。

●建設水道課一下水道事業会計

質問 マンホールポンプ電気料 54 万 4000 円は昨年より 54 万 4000 円減ですよ。

回答 すいません。減です。

質問 先ほどと同じようにこの光熱費が全体に上がっているのに、この予算となった理由を教えてください。

回答 これは実績に応じてこの金額を計上したという形になります。

質問 そうすると確認ですが下水道の方は補正で一般会計から持ってきたのはなかったんですね。

回答 はい

質問 下水道の処理区域の変更について、前回の審議会でも出たと思うんですがこれについてはもう 8 年度何も対応しないということでしょうか？

回答 現在農集排で 1 個集合処理から浄化槽に変更で協議をしています。その状況等がまだ結果として出ていないので。

質問 県との協議のことですか。

回答 県ではなく試験的にやっている所有者との協議が進んでいないので、その結論を見て広げていきたいとは思っております。

質問 8 年度はそういう方針ですか。

回答 ちょっと検討のまだ期間ということで 8 年度は考えてます。